

イネカメムシを 防除しましょう！！



各地でイネカメムシが発生しています。現在は第1世代虫が主体で、今後9月にかけて次のピークを迎えます。不稔及び斑点米を防ぐためには、出穂期～穂揃期と、その7～10日後の薬剤散布が有効です。適期防除を実施しましょう。



イネカメムシの生育過程

1回目防除 不稔の防止・低減

出穂期～穂揃期に必ず薬剤散布を行う。
粒剤では処理を数日早める。

2回目防除 斑点米の防止・低減

穂揃期の7～10日後に薬剤散布を行う。
粒剤では処理を数日早める。



株内の茎のうち約半数～8割程度が出穂した頃



穂が上部から傾き、籾が厚くなり始めた頃

田植時期	品種	1回目防除	2回目防除
5月中下旬	彩のきずな、コシヒカリ	7月下旬～8月上旬	8月中旬～下旬
	彩のかがやき	8月上旬～中旬	8月中旬～下旬
6月上旬	彩のきずな、コシヒカリ	8月上旬	8月中旬～下旬
	彩のかがやき	8月中旬	8月下旬～9月上旬
6月中下旬	彩のきずな	8月中旬～下旬	8月下旬～9月上旬
	彩のかがやき	8月下旬	9月上旬～中旬

(令和6年8月1日時点の登録情報)

農業はラベルに記載の適用作物、使用時期、使用方法等を十分確認の上、最終有効期限までに使用してください。

使用可能な薬剤の例

商品名	IRACコード	倍数・処理量	使用時期・回数
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	4A	2,000倍	収穫7日前まで・3回以内*
ダントツ水溶剤	4A	4,000倍	収穫7日前まで・3回以内
スミチオン乳剤	1B	1,000倍	収穫21日前まで・2回以内
スタークル粒剤 アルバリン粒剤	4A	3kg/10a	収穫7日前まで・3回以内*

*「スタークル(アルバリン)顆粒水溶剤」「スタークル(アルバリン)粒剤」について、ジメトアゾの総使用回数は4回以内のため、散布回数に注意する。
イネカメムシを含む斑点米カメムシ類の全国的な発生により、薬剤の需給がひっ迫しています。記載の薬剤が欠品となっている可能性もありますので、お早めに薬剤販売店に御確認ください。

本虫に係る相談については、お近くの県農林振興センターか以下のいずれかに御連絡ください。
埼玉県病害虫防除所 電話:048-539-0661 埼玉県農産物安全課 電話:048-830-4053